



● 現行モデル

サファリが 3年間の沈黙やぶって 変わる!!

97

年のデビュー時から存在感が薄かった。現行サファリにはそんな印象を抱いているユーザーがもしもいる。盗難騒動でランクル100が話題に上っても、サファリが同じように取り沙汰されたことはほとんどない。ドロボーの目にも留まらないク

ルマなのだろうか。

99年9月にはZD30DDTi型3リットル直噴ディーゼルターボを搭載したり、フロントグリルを変えるなど、熟成が図られた。しかし、世間での注目度に大きな変化はなかった。オフロード性能も含め、スペック的な魅力は決して低くないのに。

そこで開発陣は考えたようだ。「やはりインパクトのなさが影響しているのだろうか」と。着々と進められているMCモデルの情報からも、そんな心情が伝わってくる。フロントまわりを変更して表情に力強さを持たせるといった手法が、その典型例だ。

スクープ班が入手した情報をもとに、MCモデルをCG予想してみた。もっとも大きな変更点はフロントバンパーで、両脇にフォグラмпが内蔵できるくらいの穴が設けられる。また、新設定されるフロントガードガーニッシュを装着すれば、いちだんと強力な雰囲気が出せる。デザイン変更にともなつてオーバーライナー部は取り除かれ、バンパー前面のゴツゴツした感じは払拭される。

このほか、サイドプロテクションモールとリアバンパー&ステップ、一部ボディカラーも変更される。一方、フロントグリルやヘッドランプ周辺は現行モデルと変わらず、パーツ流用が図られるようだ。

メカニズム関連の情報は未確認だが、場合によっては4ドアロングのエンジンや全グレードの安全装備に磨きがかかるかもしれない。気になる発表時期は年末、01年春が濃厚だ。パジェロも低迷し、ランクルだけが元気なヘビー級クロカン市場で、サファリの化粧直しに効果を発揮するのは間違いないだろう。